



## 古本屋さんを訪ねる楽しみ

松崎 俊一

私は戦後の物資不足の時代小学校生活を送った。特に低学年の時は、教科書の不足から兄弟が上にいる時はお下がりを使うよう指導があった。3年生の時、2つ違いの姉から算数の教科書を譲り受け使っていると、途中から違っているのに気づき友人の教科書を一晩で写した苦い経験の思い出がある。

そんな頃、時々父に連れられバスにのって下館の本屋さんや古本屋さんに行くのがとても楽しみであった。私はその頃これといった興味もなく、手当たり次第のもの珍しく子ども向けの本を一、二冊買ってもらっては喜んでいて。当時、父の職場は下館で帰りのバスの待ち合わせには、馴染みの本屋さんに立ち寄り本を求めては、家でもひまさえあれば読書をしていた。特に郷土史や農民運動に関心があり、研究家でもあった。今思うと貴重な本や資料は、特に古本屋さんから探し求めたものであった。彼は厳格で几帳面であったが、教育方針は、あまり厳しく言うことはなかった。しかし、常々、力のないのは自分の責任だ。本を読み、読書することが実力をつける元だと言っていた。私は、いつも長続きしないで、中途半端でなげだしていた。今思えば、教えるを実行していたらと悔やんでいる。

その後長く教職の身にあっても、各地にいても本屋めぐりで好きな本を選定し、買い求める楽しみは、父親の教えである事に気付いた。特に古本屋を訪ねて、めあての珍本を見つけた時は格別である。父の旺盛な読書熱は晩年まで衰えなかった。私が退職後、連れ立って行った下館の古本屋さんで「柳田國男集<全31巻>」(筑摩書房)を求めプレゼントしたのが最後となった。まもなく、店主がなくなり馴染みの古本屋さんも閉店となってしまった。

つくば学園都市となり、ひと時、何軒もの古本屋ができた。行く度巡っては、趣味の本を買ってくるのを楽しみにしていた。なかなか手に入りにくい美術全集や珍しい本がお陰で格安で手にすることが出来るようになった。

ところが、このところ経営不振のせいか、たった一軒になってしまった。誠に残念でならない。先日尋ねた折、店主に存続を願ってきた。

先日、つくばの病氣見舞い帰りに立ち寄り、土門拳全集「古寺巡礼」を求めた。昨年12月初旬、何年かぶりに奈良・京都を訪ねた。彼の傑作「女人高野室生寺」を尋ねて再び感動した。これからも生涯の楽しみの一つとしたい。

(まつざき しゅんいち／筑西市立図書館協議会委員長)

※タイトル文字は滝平二郎

## 2月の予定

### ●おはなし会 午後3時から児童室

2月9日(日)  
『やきいもの日』  
『おひるねネコさん』

2月16日(日)  
『いるいるだあれ』  
『るることおひなさま』

### ●小貫則子個展

油絵、水彩、切り絵、陶芸、折雛等の展示と、電気紙芝居による朗読会等を行います。

日時：2月6日(木)～13日(木) 午前10時～午後5時

※ただし、6日は午後1時から、13日は午後1時まで、10日は休館

※電気紙芝居による朗読会は、8日(土)、9日(日)、11日(火)に

午後1時から30分間行います。

会場：明野図書館 視聴覚室

### ●図書館からのお願い

図書館の本はいろいろな方が見ますので、書き込みをしたり折り目をつけないようにしてください。もし破いたり、絵や文字の書き込みをしてしまった場合はそのままの状態にしておいてご返却の際にお知らせください。

### 図書館カレンダー

2月 FEB						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

【開館時間】  
午前10時から  
午後6時まで

■は休みです。

3月 MAR						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

ーくらしに生かそうみんなの図書館ー 明野図書館 TEL:0296-52-2466

花さき山のホームページアドレスは、

<http://library.city.chikusei.lg.jp/hanasakiyama/index.html> です。